

二、情報出版企業として

⑫ 資生堂デザインフォーラム(中)

〜フィリップ・ドゥクフレ創造の世界〜

平成四(一九九二年)二月のアルベルビル冬期オリンピック開会式の模様を感動した私は、開会式の演出を手がけたフィリップ・ドゥクフレを第二回資生堂デザインフォーラムのテーマに取り上げることになった。ドゥクフレの内諾を取り付けた後の七月、資生堂の〇〇氏とともに企画のコンセプト作りのためパリに向った。ドゥクフレに会ったのはパリの中心部に近いビビエンヌ通りの小さなホテルだった。TVから伝わる彼の繊細な表情からシリアスな芸術家タイプを想像していたが、思ったより気さくな青年だった。知人で帰省中の〇〇〇〇早稲田大学教授に通訳を依頼し、世界の人々に感動を与えた「アルベルビル」の創造の秘密を探ることにした。

ドゥクフレは一九六一年十月パリで生まれた。中学卒業後サーカス専門学校に入り、十八才から本格的にモダンダンスを始めた。その後渡米しダンスに磨きをかけた他、映画やビデオ等の映像表現の技法を学んだ。帰国後多彩なアーティスト達との交流を深め、八三年クリエイター集団DCAを設立した。ドゥクフレは当時のパリに満ちていたヌーベルダンス等芸術の新しい熱気の中に、米国流モダンダンスやパソコン世代の若者を引付ける映像性をも持ち込んだ。ヒット作「Code X」で一躍パリの若者のハートをつかむと、八九年のバリ革命二百年祭ではパレード演出の助手を務め、一大スベクタクルの演出技法を学ぶことになった。「アルベルビル」のコンペには軽い気持ちで応募したため、当選の報を受けた時は、信じられない思いであった

という。同時に、オリンピック組織委員会から「色」(若さ)「フランスのダイナミズム」(スポーツの純粋性)の四つのテーマを提示された。彼は、三ヶ月の間この幸運を受けるべきかどうか真剣に悩んだが、ある日夢の中にすべてのイメージがあらわれ決心を固めたという。後に、古くから親交のあったダンス評論家の〇〇〇〇〇〇さんからうかがった話やドゥクフレ自身の話をもとに、アルベルビルを秘密を私なりの言葉で要約すると、「フアン」な絵心を持ちそれを形にしたくしようがない身体を動かすことが好きな青年の幸運な物語」ということになった。さて、ドゥクフレの話にフォーラム成功の確信を深めた私と〇〇氏は、帰国後早速計画に取組んだ。計画のあらまは次の通りである。正式タイトルを資生堂デザインフォーラム'92「フィリップ・ドゥクフレ創造の世界」新しい生活文化の創造をめざして」とし、開催日を平成四(一九九二年)九月二十四〜二十五日(大阪会場)、二十八〜三十日(東京会場)とした。受講料を七万円(大阪会場)、十二万円(東京会場)に設定し、両会場合計四百名の入場者数を見込んだ。コンセプトは第一回(女性のためのインダストリアルデザイン講座)から一貫するメインテーマ(生活文化の創造)を更に掘り下げ、工業社会の中で失われた生活の場における感動やドラマ性をどうすれば取り戻せるのか、世界の人々に感動を与えたドゥクフレの創造性とそのヒントを探ろうというものだった。企画構成を要約すると、

- ① 近未来・未来の生活への提案
- ② 劇を生み出す建築
- ③ 身体の想像力〜二十一世紀の感性産業へむけて
- ④ ビジュアリゼーション〜情報文化への予兆
- ⑤ 日本人の美意識
- ⑥ パネル討論会：ヨーロッパのニュークリエイティブ

【大阪会場】

- ① 近未来・未来の生活への提案
- ② 劇を生み出す建築
- ③ 身体の想像力〜二十一世紀の感性産業へむけて
- ④ ビジュアリゼーション〜情報文化への予兆
- ⑤ 日本人の美意識
- ⑥ パネル討論会：ヨーロッパのニュークリエイティブ

フパワー(映画上映 Caranba並みに CodeX他)

【東京会場】

- ① 工業社会で失われたもの
- ② メディア時代の感性と創造力〜コンピュータと身体
- ③ 企業の創造性をいかに開発するか
- ④ 都市空間の創造的モデル
- ⑤ 身体にいい光〜エロティックな光は見つかるか
- ⑥ 生活文化の創造にはたす企業の役割
- ⑦ ヨーロッパのニュークリエイティブパワー〜ドゥクフレ・村上龍対談(映画上映 HEBEBOB)
- ⑧ パネル討論会：アルベルビルオリンピックに学ぶもの(映画上映 アルベルビル冬期オリンピック開会式他)

以上延べ五日間でのフォーラムだった。かなり強気の事業計画だったが、思ったほど集客が伸びず収益面で予想以上の赤字を出し、資生堂に大きな負担をかける結果となった。主な理由は、メインテーマである創造力にこだわりすぎ、ドゥクフレという稀有な素材を生かしきれなかったためであると反省している。だが、このフォーラムで築いた人的ネットワークや企業イメージへの貢献はかけがえない財産であるといべントグループリーダーの〇〇氏や〇〇氏には逆に励まされ、救われた思いであった。と同時に、資生堂という会社の奥行きを深さを実感したのであった。

実質的に初来日であったドゥクフレはフォーラムをきっかけに、その後日本でもその名を知られるようになった。三年前に沢田研二、山瀬まみ主演で劇場上演され話題になった「Dora! 百万回生きた猫」はドゥクフレ演出である。昨年は「SHAZAM!」が劇場上演された。来日のたびに、楽屋裏で家族ぐるみで旧交を暖めている。今後の彼は映画制作に意欲を見せている。映画「アリカテッセン」が大好きで、ジャン・ジュネ監督とも交友のあるドゥクフレの今後の活躍に期待したい。

掲示板

今月の人事

- 六月一日付退社 営業部
- 入社 科学技術情報部
- 六月十二日付入社 営業部
- 六月十三日付退社 営業部
- 六月二十二日付入社 営業部
- 六月二十八日付入社 営業部

夏期休暇について

今年の夏期休暇は八月十四〜十五日です。

社内清掃について

次の日程で、本社事務所内の床掃除を行ないますので宜しくお願い致します。当日休日出勤の予定がある場合は作業に支障がありますので、必ず総務部に連絡して下さい。

七月二十三日(日) 八月二十七日(日)

健康診断について

先月実施した健康診断の結果については、先日総務部より書類にてお渡ししました。尚、再検査の指示があった場合は指示に従って下さい。

編集後記

▼バケツを見るたび、自分の足を思い出す。はあ、「ハンズキック」で良かった子供の頃が懐かしい。(ボンタ加藤)
▼これから夏本番！遊びの計画を立てつつ、ジメジメの梅雨を乗り切らなくては、と思っこの頃です。(サンデー武田)
▼社内の方からハーフのミニットの技をいただいた。挿木にしたら増えたのでミニトファイにしました。うまかった。(ジャンプ西井)
▼家の隣に「ジーンズメイト」ができた。それも二十四時間営業。僕は夜道が明るくて良いが、体誰が買うの？午前三時にアロハシヤッ。

NTSニュース二〇〇〇年八月号(通巻二十四号) 二〇〇〇年六月二十五日発行